



第145号(季刊)
令和5年1月
田中野田町内会



田中野田HP <http://townweb.e-okayamacity.jp/c-tanakanoda/>

町内会ホームページ QRコード ↑



2023年頭にあたり

— 活動が再開できる年に —

田中野田町内会

会長 原 安正 4組

あけましておめでとうございます。よい初春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。
町内活動へのご支援、ご協力を感謝いたしますと共に本年もよろしくお願い申し上げます。



◆地域行事の再開を目指す—感染対策と状況を見て

昨年は依然としてコロナ禍の中で夏祭りなど中止になり、十分に活動できませんでした。今後、コロナ感染防止対策をし状況をみながら、人が集う活動が再開できるよう取り組んでいきたいと思っております。

御南学区では毎年11月に御南小学校3年生を対象に「舟ゆうさん」を体験します。私も参加させてもらい、竹竿を使って舟をこぎ小学校西側から久米地区に向かって流れる用水路を巡りました。御南学区では稲穂の垂れた田んぼが見られるのは僅かとなってしまい、子供達は農業を中心とした昔の暮らしの一端と用水路の役割などを学び、また、川舟に乗れて大変喜んでいました。

昨年は11/20 御南学区体協3世代交流 GG 大会、12/4 御南学区体協卓球大会などが開催され、町内からも参加しました。また、3年ぶりに第24回田中・田中野田町内親善 GG 大会が12/11に開催され、初めてGGをする人も熟練者も和気あいあいとプレーし交流を楽しみました。好評の豚汁は今回見送り、次回是非との声も。

従来からお住まいの方も新しく生活を始められた方も、再開されつつある行事へのご参加をお待ちしています。

◆用水路清掃と防災意識の高揚に向けて

2018年7月の西日本豪雨では倉敷市真備地区が堤防決壊により甚大な浸水被害、また、岡山市の平島地区や御南学区の久米・今保地区も浸水被害を受けました。宅地化の進行に伴い、今まで大雨の時に保水の役割をした水田の減少で用水路は短時間で増水するようになりました。昨年、9月1日防災の日に岡山市は短時間で30mmもの大雨になり、町内では数ヶ所の道路で20cm程冠水したため、水利委員の方が田中ポンプ場を稼働させて用水路の雨水を排水しました。ポンプの吸水口には大量の藻と色々な川ごみが集まって、排水の妨げになっています。防災対策からも流れを良くすることが大切です。

昨年8月に2組を流れる用水路、9月の公園清掃時には公園周辺の用水路の藻引き清掃を実施しました。今後、状況を見ながら藻が繁殖しごみ溜まりとなっている所を中心として、藻引き清掃を行う予定です。

毎年11月の御南小学校区の防災訓練への参加、防災用具の点検・補充、自主防災組織の充実など、防災意識が一段と高められるように皆さまと一緒に取り組んで参りますので、今後もお協力をお願い致します。